

令和5年度 第6回

12月 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日時：令和5年12月18日（月）15:00～15:30

場所：第1診療棟6F特別会議室

出席者： 委員長 豊嶋英明
委員 服部一郎、福田昌子、村上健次、野々川陽子

出席委員数/全委員数： 5人/11人

審議事項 申請課題数：新規申請課題 1件

その他審議事項は特になし

申請課題について

No. 1	<p>受付番号：No.1765</p> <p>課題名：触覚デバイスを用いた仮想書道から得られる変数と握力、痛み、上肢機能との関係性—探索的研究</p> <p>申請者：近藤 和泉</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <ol style="list-style-type: none">1. 申請者の判断ですが、本研究は介入なしの観察研究でもよいのではないのでしょうか。介入研究とする場合については、主要評価項目を設定し、後の評価項目は副次評価項目として設定してください。また、介入前後の比較関係についても追記してください。2. 研究計画書>「4.6.4」によれば、簡易上肢機能検査は約20分を要するとあるが、申請書>「10.」>「Ⅲ.」、説明書>「6.」、付録2_募集チラシでは調査全体が約30分であると記載されているが、相違ないでしょうか。また、説明書>「6.」における上肢機能検査の記載を、より具体的に改訂してください。3. 研究計画書>「4.4」>「・システムから得られる変数」において、スコアの計算式で、「D_c」、「R_c」は、他の記載ではすべて大文字となっています。統一してください。 <p>利益相反審査結果：非該当で承認</p>
-------	--